

Q&A

➤ 人工内耳の術後

① 聞こえ方は元(悪くなる前)に戻る？

現在よりは音は聞こえるようになりますが、言葉がどの程度聞こえるようになるかは患者様によって大きく異なります。機械を通した音になるので、完全に元の聞こえ方に戻る訳ではありません。「ロボットや宇宙人の声に聞こえる」という訴えをする方も多いです。

② 補聴器との違いは？

補聴器はマイクで拾った音を大きくして内耳へ伝えているだけです。人工内耳は、マイクで拾った音を処理して電気信号にして聴神経へ直接届けて、内耳の働きを代替します。したがって内耳の聞こえ機能低下で補聴器による効果が少なくなった患者様でも、人工内耳によって聞こえを取り戻せる可能性があります。

③ リハビリでは何をするの？

人工内耳の聞こえ方の調整やクリーニング、検査、聴覚リハビリテーション等、患者様の状態に合わせた必要な内容のものを毎回行います。頻度(回数)は、患者様によって異なりますが、多い場合で月 1~2 回程度、少ない場合で年に 1 回程度となります。

④ リハビリも保険適用なの？

健康保険の適用になります。

⑤ 障害者手帳の等級は変わるの？

等級は変わりません。

⑥ 飛行機は大丈夫？

搭乗時の金属探知機は人工内耳を壊しませんが、まれに人工内耳に反応することがあります。その際は、術後にお渡しするカードをお見せしていただくことになります。離着陸時には、飛行機の通信電波を邪魔するため、他の電気製品(スマートフォンやパソコン)同様に人工内耳のスイッチを切ってください。

⑦ パーマ・カラーは大丈夫？

体外部のスピーチプロセッサを外せば大丈夫です。

⑧ 仕事、入浴、スポーツはできる？

術後は、頭部に強い衝撃が加わること(サッカーなど)、磁気の強い機械の近く(特殊な工場など)、中耳に高い気圧がかかること(スキューバダイビングなど)は、避けていただくことになります。水泳・入浴は、体外部のスピーチプロセッサを外していただければ可能です。(外している間は音は聞こえませんが。)現在、完全防水のカバーも販売されておりますので、それを使用すると、そのまま水泳・入浴が可能です。

⑨ 日常の手入れや点検は？

体外部のスピーチプロセッサは電子機器ですので、汚れや湿気は大敵です。

毎日の掃除、乾燥が必要になります。

⑩ 診察代やリハビリ代以外にお金はかかる？

人工内耳が壊れた時に、保証期間を過ぎていると料金が発生します。（保証期間はメーカーによって異なります。）また、ケーブルは断線することがあり、数ヶ月で切れてしまう場合もあるため、購入が必要となります。その他、乾燥剤や電池等ご購入が必要な消耗品もあり、費用はかかってきます。